

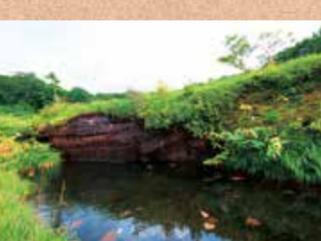
栗駒野鳥の森マップ

栗駒野鳥の森は、栗駒国定公園内の鳥獣保護区の中にあり、標高は1,000メートル。ブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹林と湿原、池塘が広がり、50種ほどの野鳥のほか、昆虫などが豊富に生息し、高山植物とともに自然の営みを観察しながら森林浴を楽しめます。付近にはブナ林に囲まれた火山湖・須川湖や、学術的に貴重なシラタマノキ湿原・泥炭地があり、大自然を堪能できるフィールドです。

野鳥の森から足をのばして



須川湖・須川湖キャンプ場
標高1,030mに位置する火山湖。周囲をブナ林に覆われ、四季折々、美しい景観をみせます。散策路やキャンプ場が整備されています。



シラタマノキ湿原(泥炭地)
須川湖から南へ約300mの所にある湿原で、泥炭状に層を成している形状がみられます。泥炭状の層は火山活動の跡にできた酸性湖が陸化する過程で、密生したヤナギゴケ科のウカミカマゴケが湖底に堆積、泥炭形成が進行したものと考えられており、学術的に価値の高いものです。足をのばして観察してみましょう。



自然観察しながらトレッキング

- 湿っている倒木や木の根などは滑りやすいので、足裏全体に荷重しましょう。
 - 登り坂では無理せずペースダウン。小さな歩幅で土踏まずに体重を預けるように歩きましょう。
 - 登り坂ではかかとからつま先にかけて、靴底全体で体重を受けるように着地します。
- ※一部歩道全体が湿っている場所があるため、登山靴がおすすめです。
- 水分のほか、すぐにエネルギーに変わる飴、チョコレートなどを携行しましょう。



通行不可
※危険ですので立入らないでください

野鳥観察
栗駒の野鳥は50種類ほどの棲息が確認されており、カッコウ、カワガラス、ウソ、ホオジロ、キセキレイ、ゴジュウカラ、シジュウカラ、小柄、ヒガラ、エナガ、アカゲラ、キジバト、ウグイスなどです。沼や緑豊かな野鳥の森は、鳥たちの天国です。

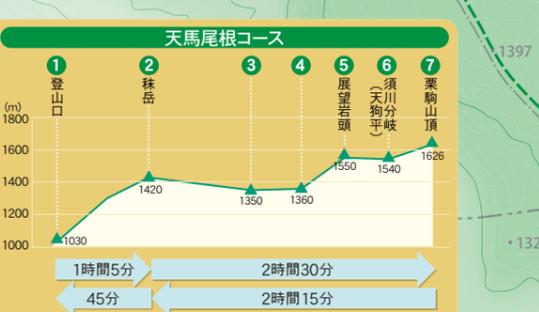


バードヒアリング

- 鳴き声をたよりに鳥たちを聞き分けましょう。
- ホオジロ/ツツピー、ツツピー
 - ウソ/フィー、フィット、またはヴィー
 - シジュウカラ/ツツピー、ツツピー、またはチチッ、チチッ
 - エナガ/ツツ、チッ、またはチーチチ、ツリツリユという声はエナガ独特
 - キジバト/クウー、デッポポー、デッポポー

- ～ルールを守ってリスクを避けよう～
- 決められた道以外は歩かない
 - 進入禁止の道は歩かない
 - 立入禁止区域へは入らない
- 自然を守る目的のほか、怪我や事故を未然に防ぐ、クマなどの野生動物との遭遇を避けることにつながります。

栗駒山登山マップ



[天馬尾根コース](初～中級者向け)
須川湖近くの登山口からブナ林の急坂を登り続けると株岳に至ります。その先に続く「白銀草原」は春夏の高山植物、秋の草紅葉が見事です。展望岩頭からの眺望も素晴らしく、魅力あふれる縦走コースです。

須川コースは昭和湖付近の火山ガス濃度が高いため、**苔花台～天狗平の区間は立入禁止**

[産沼コース](初心者、初級者向け)
須川高原温泉登山口からの須川コースは一部通行止めのため、山頂へ至るために産沼を経由する自然観察路が迂回路となります。このコースは段差の大きい階段や沢があるなど変化に富んだ登山を楽しむことができます。

山頂～天狗岩の南斜面は切れ落ちているため強風時などは注意



展望岩頭からの眺望